

奥鬼怒 魚沢～赤岩沢

高山

【日時】 2009年8月1日(土)～2日(日)

【メンバー】 L田辺、佐貫、坂村、高山

お泊りで沢に行きませんか？ 突然のお誘い、しかも女子パ！事前の打ち合わせメールではサンシャインシスターズのひたすら明るい会話が飛び交って……。深夜の駐車場は一応星が瞬いているものの、はてさてこの組み合わせ吉とでるか。

8/1 八丁の湯への橋を左に分けると、林道は廃道進行中の様相。魚沢出合いの少し前から入渓する。あちこちに残留伐採作業中のような残骸にやや興ざめするものの、どこまでも続くような滑床は美しく、女子は大騒ぎでワイワイ進む。20Mの滝が現れた時点で、体調不良のメンバーがいたので早々に幕を決めた。まだ10時前。それでも幕場適地の選定、幕場の地ならし、ツェルト・タープの設営、薪集めに火起こしと、仕事は



ドボン注意のミニゴルジュ

たくさん。RさんとE嬢の指導のもと、せっせと働く。しかし私の拙さに連日の雨が相まって焚火が安定しない。度重なるメタもどきの投入、薪の組み直しに越後うちわ攻撃と、あらゆる手を使って立派な焚火にした頃には、もうお昼を過ぎていた。

8/2 5時出発。昨日の20Mの滝はRさんを先頭に右を上る。少し行くと辺りが薄暗くなって、ゴルジュが姿を現す。E嬢は躊躇うことなく、早々にザックを下して先陣を切る。2番手にRさんが続くも突っ張りきれずに戻ってきてしまい、次は私。しかしあまりに不用意だった。なんとなく置いた最初の1歩で、「ド・ボン」なのだから。あまりに突然の展開に周りは啞然、泳ぎ嫌いの私はパニック。視界に入ったRさんに必死に手を伸ばし、何とか助かった。(ロープがつながっていても嫌なものは嫌、怖いのだ。)越えて

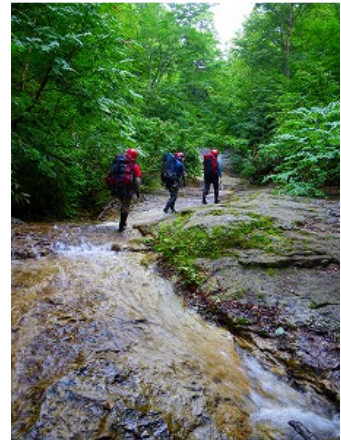
E嬢のもとについて安堵するも束の間、「先を偵察しにいくから、最後利香さんビレイしてね。滑ったらロープ送って。」と、的確な指示を残しE嬢はゴルジュを後にする。(ええっ！私……)続いて上がってきたKを先に促して再び一人になると、なんとかロープをセットしてしきりに呪文を唱える。(滑ったら送る、滑ったら送る……)

次の8M滝は中ほどの岩がぬるぬるでいやらしい、ここもE嬢がトップだ。アッセンダーをつけて続いた私は、またしても「最後、利香さんとよろしく」と言葉に、先を急ぐE嬢を見送るのであった。無理はない、ゴルジュ突破に思いのほか時間がかかった上、ポツリポツリだった雨が安定した小雨になっている。三俣の分岐にある滝はザレていて手掛かりが厳しい。E嬢がRさんの手を足掛かりに上がって、今度は私に最後に登るよう指示がある。2人がゴボウで登る間、もう1本のお助けでE嬢と私でザックの荷

揚げだ。(さすが、E嬢時間にロスがない。)

分岐を過ぎると水流も乏しくなり、鼻を利かせたE嬢の導きでひょっこり黒沢田代に出た。「湿原を渡る風にワタスゲ」といった光景はなかったが、少し前までの雨もすっかり止んで、陽が差している。(これぞサンシャインシスターズの威力!)

赤岩沢への下降点はすぐに見つかった。沢形は最初から明瞭でぐいぐい下る。そして、下降のハイライト、大滝に辿り着く。懸垂下降地点の偵察に向かったE嬢の後を、Rさんが追う。(「私が先に行くから、高山さんは最後にきてね」と順番を告げて。) 1ピッチ目は空中懸垂。待機場所も急で悪く、Kさんと私はそれぞれ離れてセルフビレイを取りながら、呼ばれるのを待つ。先に行ったKさんとRさんのやりとりが随分下に聞こえる。Kさんの懸垂が終わったので行ってみると、なかなかの悪場だ。最後となるとあちこちにセットしたシュリングを回収しないとイケない。思いを察してか、「最後に(懸垂)する?」とRさんから一応提案がある。残念ながら、これは丁重にお断りさせていただいた。



ナメの続く魚沢



雨上がりの湿原に立つ熟女たち

その次の大滝は右岸の立派な踏み跡を利用し、難なく下りた。そうすると後はもう滑との戯れの時間で、Rさんの恐怖と歓喜の悲鳴が静かな沢にこだまする。そして最後はうんざりするほどのゴーロ続きに巨大堰堤高巻きまであって、「こっち(赤岩沢)からじゃなくて正解だったよね」とE嬢に素直に頷くのでした。

駐車場に戻って温泉に着くころにはお決まりの雨が降り出す。今回も総論として天気恵まれた山行でした。「初めての女子パ(沢編)～しっかりものの姉と出来の良いい妹に鍛えられるの巻」は、これでおしまい。めでたし、めでたし。

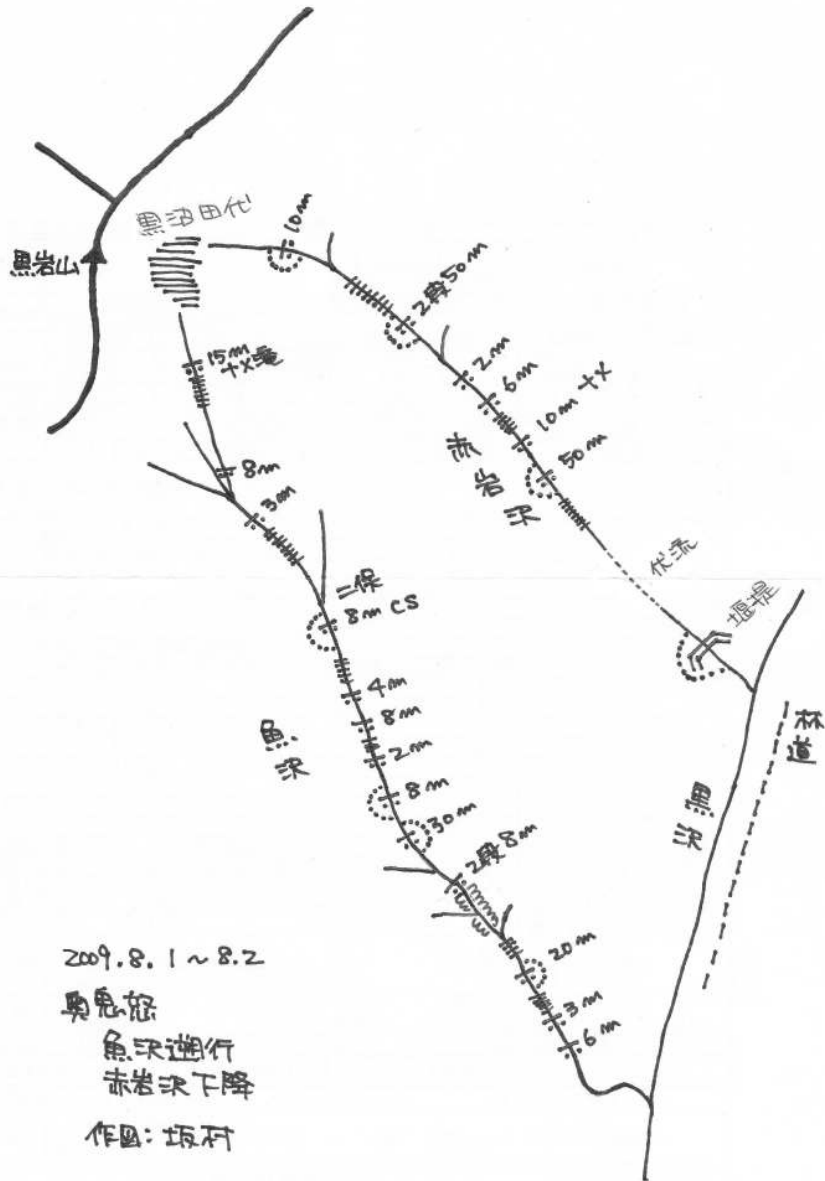
【グレード】2級上

【行程】

8/1 女夫淵温泉駐車場(7:20)－魚沢出合(7:50)－幕場(9:40)

8/2 出発(5:00)－ミニゴルジュ上(6:35)－黒沼田代(10:10/10:30)－赤岩沢出合(14:50)－女夫淵温泉駐車場(15:30)

【地形図】川俣温泉



2009.8.1 ~ 8.2

奥志摩

魚沢進行
赤岩沢下降

作圖: 坂村